



晩冬の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び

申し上げます。

今年一年が皆様にとって実り多く、また年初めのように穏やかな 蒔き、準備してきたことが実を結ぶ一年になると言われています。 な気候での幕開けとなりました。今年は丙ン申、これまでに種を 一年であることを願います。 今年の正月はまったく雪がなく、観測史上初ともいえる穏やか

論を深めていきたいと考えています。 のとせず、今後も良い流れを持続できるよう次の一手のために議 県が大変注目された一年でもありました。この活気を一過性のも 県内外から一万四千人が出場したとやまマラソンの開催と、富山 天皇皇后両陛下のご臨席を仰いだ全国豊かな海づくり大会の開催 昨年を振り返ると、構想から半世紀を掛けた北陸新幹線の開業

また今年7月には参議院の改選が控えておりますし、衆議院の

解散も囁かれているようです。

たいと思います。 私も今年一年、まっすぐ誠実に、芯を貫く姿勢を心掛けていき 與野 冰子

平成27年11月定例会



【周産期医療体制の構築について】

PICK U P

関へと減少している。 県内の分娩取扱医療機関数は、 平成21年の25機関から、 平成27年には21機

とになり、産科の維持が必要不可欠。 1 を元に計算すると平成42年の年間出生数は約8, また富山県の平成26年の出生数は7,556人だが、 100人に増加するこ 「富山県人口ビジョ

Q 県内で安心・安全な妊娠・出産ができる医療体制の維持に向けた 県の役割について問う。

厚生部長

に取り組んでいる。 療所の支援、周産期救急情報システムの充実等 医療機関の連携体制を整備し、 び「地域周産期母子医療センター」を核とした 県では、 「総合周産期母子医療センター」及 地域の病院や診

ライン」の策定等にも取り組んだ。 また、 「富山県周産期医療搬送・紹介ガイド

び周産期医療体制整備計画の進捗状況を適切に 今後は、医療体制の維持に向け、医療計画及 見直していく。



Q 対応について問う。 「富山県周産期医療体制整備計画」の実績に対する評価と今後の

厚生部長

ている。県としては今後、 平成23年3月に策定した周産期医療体制整備計画の目標は、概ね達成し 国の方針も踏まえて適切に対応したい。

Q これから策定する地域医療構想の中での、 県立中央病院の位置づ

知

第4次中期経営計画の策定の過程において具体的に検討していく。 基本的には、現在と同様、県民に信頼され、県民の生命を守る最後の砦 今後の機能や役割は、地域医療構想の策定や次期医療計画の見直

として、高度急性期医療を担う病院としていきたい。

のように取り組んでいくのか問う。や産科開業医の確保が必要だが、今後の産科医の養成・確保にど周産期医療体制を構築していくために、公的病院の産科医の増員

Q

知

Ą

を行っている。結果、修学資金貸与者のうち既に4名が産科医として勤 望する医学生への修学資金の拡充、③富山大学に医師派遣の協力要請など に努めたい。 での産科専門医の養成プログラム策定を支援し、本県における産科の充実 し、15名が産科を希望しているなど、一定の成果がでている。 また、富山大学の特別枠の医学生を対象とした特別講座の開催や、 県では、①富山大学や金沢大学における特別枠の設定、 ②産科等を志 病院

Q いて問う。産科医が働きやすい環境整備のために、さらなる支援の検討につ

PICK UP

は月に7・5回であった。 答えた病院の平均回数は月に4・6回。一方、多すぎると回答した平均回数 **善と女性医師の就労環境に関するアンケート調査」では、当直回数が適正と** 昨年1月に発表された日本産婦人科医会による「産婦人科勤務医の処遇改

均58・1時間と、47都道府県で一番の長時間労働: 同調べでは、本県の平均当直回数は月に8・5回、一週間の勤務時間も平 および当直回数となって

また近年は新産科医のア割が女性であり、今後もその傾向が強いとされる。

厚生部長

Ą 支給する医療機関への助成、 の開設、④県と医師会が連携し女性医師等支援事業に取り組んでいる。 県では、①病院内保育所の運営費に対する支援、②医師へ分娩手当を 働きやすい環境の整備は、医療の質の向上や医療安全の推進のみなら こうした取組みの結果、 産科医のさらなる確保・定着にもつながる重要な取組みである。 勤務環境改善に取組む事例がでてきている。 ③「富山県医療勤務環境改善支援センター

【主権者教育について】

Q 組みを行っているが、その意義と目的、そしてどのような選挙(政県選挙管理委員会では、各種選挙において啓発のための様々な取 治参画)が望ましいと考えているのか問う。 組みを行っているが、その意義と目的、そしてどのような選挙

経営管理部長

際は、 発信、 的に、 民主政治の健全な発達を期することを目由な意思によって公明かつ適正に行われ、選挙管理委員会は、選挙が有権者の自 発行している。 必要な情報を提供し、 研修会の開催などを行い、選挙の 選挙啓発ポスターの募集や、情報 選挙公報を

えており、様々な啓発を通して有権者に 選挙の重要性などを周知していきたい。 進んで投票に参加する姿が望ましいと考 有権者が、主権者としての自覚を持って



Q 選挙権年齢の引下げに伴う県選管の新しい取組みとその実施状況 について問う。

経営管理部長

- ①高校生を対象としたで出前授業を実施 県選挙管理委員会では新たに3つの取組みを行うこととした。
- ②教員等を対象とした講習会を県教育委員会と連携して実施 ③大学生による県議会傍聴及び県議会議員や知事との意見交換会の実施

Q ついて問う。治参画や選挙にどのように結び付けていくのか、今後の取組みに治参画や選挙にどのように結び付けていくのか、今後の取組みに高等学校における主権者教育の政治的中立をどのように捉え、政

教育長

場で生徒を指導することが必要である。今月中に教員を対象とした研修会 を開催し、さらに、 学校の政治的中立は、教員が個人的な主義主張を述べず、公正中立な立 実践事例を取りま

する知識を身に付け、その上で、政治付けるために、生徒が政治や選挙に関 を行い、模擬選挙など具体的・実践的 的に対立する見解がある事例等で討論 とめ活用する。 な学習を行うことが効果的である。 主権者教育を政治参画や選挙に結び



が、所見を問う。本県における主権者教育の運用のあり方等を検討すべきと考える本県における主権者教育の運用のあり方等を検討すべきと考える。資学管理委員会、有識者等を交えた第三者委員会をつくり、 各学校が政治的中立性を確保するために、 各政党の代表、

Q

PICK UP

効な主権者教育がなされないことになる。 が糾弾されるケースが散見される。その結果、現場が萎縮してしまえば、 全国的には、政治教育を実施した際に、政治的中立性について教育委員会

教育長

れる。 扱うことに慎重になる教員も出てくると考えら 摘されるケースも見られ、具体的な事象を取り 他県では、政治的中立性について議会等で指

教員を支援していく。 立を確保する対応策を提供することで、 有識者等からアドバイスをいただき、政治的中 教育委員会だけでなく、県選挙管理委員会や 現場の

検討していきたい。 ご提案については、 支援策のひとつであり、



権者教育の充実強化を要請

委員会と連携した「出前実強化を要請し、小・中、市町村教育委員会に対

教育委員会は、

Q まっている。 校においても主権者教育の重要性が高選挙権の引き下げに伴い、特別支援学 ように指導していくのか 障がい特性も鑑み、どの 今後の取組

れの障害特性に応じた、丁寧な指導を行い、がら、指導を行っていく。さらに、それぞ校では、他の高校と同じ副教材を活用しな 主権者教育が充実するよう努める。 \では、他の高校と同じ副教材を活用しな特別支援学校の高等部と高等特別支援学

Q 実施状況について問う。小中学校の主権者教育と生徒会選挙の



年4月1日から施行されます。 くり条例」を策定したことに触れました。 人権を尊重し、 前にも自民党会派による議員提案で 県民皆が共にいきいきと輝く富山県づた会派による議員提案で「障害のある人 その 条例も今

同時に2本の条例づくりに臨んでいます。 例案を練り上げ、 の名の通り、 までの工程をこなしてきましたが、 す。これまでは2年に1本程度の割合で、 これまでも自民党会派では、 4の通り、県産の木材の活用を勧め、容本目は「富山県県産材活用推進条例 年に1本程度の割合で、条例案の上程議員提案により条例を制定していま党会派では、政調会が中心となって条 今期の政調会では、 (仮称)

荒廃にもつながっています。 いるにも関わらず、内の木は、材として 構築するものです。 の木は、材として用いるのに適切な年数を優に超え安価な北洋材が多く輸入されるようになってから、 山の荒廃を食い止めることで、 伐採されていないものが多く、 ことで、資源循環につなげる。林業の衰退に歯止めをかれていないものが多く、山の 山のでえて県

発的に犯罪に巻き込まれて被害を受けてしまう方々が 普段生活する中で、 条例を検討しています。 二本目は 悪質な交通事故、 犯罪被害者等支援条例 常に細心の注意を払ってい (仮称) ても、 万々がい突れる。

内選挙管理委中学校で、校

ない場合もあ 票を行ってい

徒会選挙

の実施に向けた調整を進めている。

一人のため投

選挙管理委員会と連携した

面での支援の充実を図る必要があります。 一本同時の条例づくりは例のないことで、 今年中の上程に向けて、 被害者に相談機関や治療等の経済的な 当事者やその家族になって初めて、 強盗や性犯罪、また子供たちが巻き 現在の支援が不十分であること より良いものになる 忙しさも一

に気が付きます。

害者側の支援が必要で、

込まれる事件等、

会活動に参画主体的に生徒

育成

ように努力していきます。

の選挙活動をに関する一連

会など、 げや立会演説 員会の立ち上

選挙

実施しており

3月17日(木)14時~ 2月定例会 予算特別委員会にて質問いたします。 ケーブルテレビ、インターネットで視聴いただけます。

ホームページ http://www.okunoeiko.jp/ ぜひご覧ください。

Facebook 友達リクエストの際にはメッセージを一緒に送って頂くようお願いします。

Twitter 本人アカウント 奥野詠子(@Eiko_Okuno) 後援会アカウント 奥野詠子県議 後援会 詠桜会(@eiokai)

先 連

資源循環の形を

富山県議会自民党控室

11月定例会予算特別委員会の詳しい様子は、

富山県議会のホームページでご覧いただけます。 htpp://www.pref.toyama.jp/sections/0100/

> 所 議 務

〒939-8073 富 〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 山 市 大 町 2 TEL 076(431)5244 FAX 076(441)8421 TEL 076(420)3530 FAX076(420)3536 E-mail:okuno.eiko@lime.plala.or.jp